

学校における情報セキュリティ ～あなたの情報管理は大丈夫ですか？～

情報セキュリティとは？

私たちが安心してインターネットやコンピュータを利用できるように、扱う情報（データ）を守ることを情報セキュリティといいます。一般的には、「情報の機密性、完全性、可用性を維持すること」と定義されます。

情報セキュリティの三大要件

機密性：情報漏えいや不正アクセスから情報を保護すること。

完全性：情報が破壊、改ざん又は消去されていない状態を確保すること。

可用性：情報へのアクセスを認められた人が、いつでも情報にアクセスできる状態を確保すること。

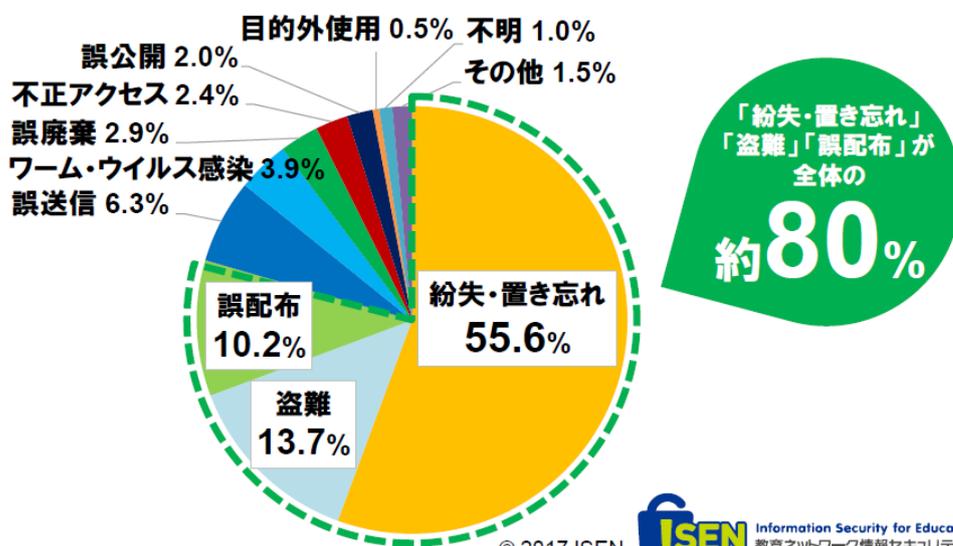


最近起こった学校における個人情報漏えい事案（ISEN Web ページより）

- ・市立小学校、入学予定者 112 人分の健診書類を紛失（2017.12.25 岐阜県）
- ・県立高等学校、生徒 715 人分の個人情報を含む私物 USB メモリの紛失（2017.12.19 富山県）
- ・国立大学、不正アクセスにより学生らの個人情報が漏えい（2017.12.13 大阪府） など

個人情報漏えい事故の発生状況（ISEN Web ページより）

「平成 28 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）によると、個人情報漏えい事故の中で、最も多いのは、書類や USB メモリ、パソコンなどの「紛失・置き忘れ」、二番目が「盗難」、三番目が「誤配布」でした。



© 2017 ISEN

ISEN Information Security for Education Network
教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会

・紛失・置き忘れの発生場所は、学校内、学校外、不明がほぼ同じ割合で、盗難はほぼ学校外で発生しています。

・情報漏えいは、年度初めや学期末（成績処理の時期）に多く発生しています。

学校における情報セキュリティチェックリスト

- パソコンのディスプレイに重要な情報を表示したまま席を離れることがある
- 重要な情報を記した書類が机の上に置きっぱなしになっていることがある
- パスワードをメモして、目につくところに置いている
- 安易に推測できるようなパスワードを設定している
- 重要な情報を記した書類をゴミ箱に捨てることがある
- 私物のパソコンや情報端末を持ち込むことがある
- FAX やプリンタに重要な情報を記した書類が放置されていることがある
- USB や CD 等を廃棄する際、(物理的に) 壊して捨てていない
- パソコンのOSやウイルス対策ソフトを最新の状態に保って(アップデートして) いない
- 不審なメールかどうかを考えずにメールを開くことがある
- 定期的なデータのバックアップを行っていない
- 重要な情報の入ったパソコンや書類を教室などに置きっぱなしにしたことがある
- 事前のウイルスチェックを行わず USB 等の記録媒体を使用することがある
- 電話等で、十分な本人確認を行わず、重要な情報を伝えたことがある

※このチェックリストは一般的な情報セキュリティ対策の観点から作成したものです。
所属機関の情報セキュリティポリシー(情報セキュリティに関する運用ルール)に従って
日頃から情報セキュリティ対策をしっかりと行ってください。

長崎県教育センターにおける情報セキュリティに関する講座(平成30年度)

- (研修講座) 情報モラル教育研修講座～学校における著作権・情報セキュリティ及びSNSの理解と対応～
期日:平成30年12月26日(水)【予定】 対象:小・中・高・特支
- (出前講座) 学校情報セキュリティの在り方～教育情報の管理・運用とセキュリティ対策～
対象:小・中・高・特支

参考文献(情報セキュリティに関するお役立ちサイト)

- ・総務省 安心してインターネットを使うために 国民のための情報セキュリティサイト
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/intro/index.html
- ・ISEN 学校情報セキュリティお役立ちWeb 今日もワンステップ <http://school-security.jp/>
- ・IPA 独立行政法人 情報処理推進機構 情報セキュリティ
<https://www.ipa.go.jp/security/index.html>
- ・中小企業情報セキュリティ対策促進事業
<http://www.jnsa.org/ikusei/>

